



Miura city council news

みうら市議会だより

2022.2.1 第148号



- 水道料金・下水道使用料の改定に関する議案を審議
- 市役所の組織を一部再編へ
- 政治倫理審査会に新たな審査事項を付託



総務経済

◎三浦市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例

本条例は、教育委員会が管轄する文化スポーツ及び生涯学習関係施設に関する業務を市長に移管するため、条例を制定するものです。

質問 業務を移管することによる利点を伺いたい。

答弁 生涯学習や市民活動が行われる施設を市長部局に集約することで、総合的に施設の使い方が考えられるため、より効果的である。



質問 社会教育委員は、社会教育に関し、計画立

案や教育委員会に意見を述べることを職務としている。市長部局に業務が移管されると社会教育委員の職務の行い方はどうなるのか。

答弁 社会教育委員の意見は市長部局に移る文化スポーツ課を通して教育委員会に伝えることが考えられる。また、教育委員会に社会教育委員が出席することも可能である。

討論

社会教育委員の置かれる教育委員会が、今後も図書館など文化スポーツに関することを管理すべきであり、反対する。

◎三浦市部設置条例の一部を改正する条例

本案は、部相当の新たな組織として市長室と防災危機対策室を設置し、また、教育に関する業務の一部を市民部に加えるものです。

(質疑の主な項目)

- ・ 防災危機対策室の担う業務について
- ・ 現在、市長室に置かれ

ている秘書担当の今後の配置について

・ 公民館機能を備えた子育て賃貸住宅ができた際に、公民館部分を所管する部署について

質問 今まで教育委員会にあった文化スポーツ課が市民部に置かれることになるが、執務場所はどうなるのか。

答弁 連携が深いと思われる市民協働課の近くに置くことも含めて、配置を検討中である。



◎三浦市市税条例の一部を改正する条例

本案は、地方税法の改正に伴い、固定資産税の課税標準の特例、軽自動車税に関する税率の特例

都市厚生

◎三浦市道路占用料条例等の一部を改正する条例

本案は、道路占用料条例ほか三条例を改正し、各条例に定めた占用料の額等を見直すものです。

質問 占用料を改定することによる市の収入への影響額は。

答弁 道路占用料は約二百九十八万円減額、漁港施設に関するものは約一万二千円減額等の影響が生じる。

◎三浦市水道事業給水条例の一部を改正する条例

本案は、水道料金の改定をするもので、令和四年七月一日から令和六年三月三十一日までは一〇%の値上げ、令和六年四月一日からは二六%の値上げを行うものです。

(質疑の主な項目)

- ・ 料金改定に関する市民周知の方法について
- ・ 上水道事業審議会からの意見について

・ 改定後の料金と全国平均の比較について

質問 料金値上げによる市民への影響額はどのくらいか。

答弁 一般家庭では、月十六立米使用の場合、改定率が一〇%の期間は一か月二百三十九円、改定率が二六%となつてからは一か月六百十一円の値上げとなる。

意見 市民の理解を得られるよう十分に周知を行うこと、また、水道事業の安定化に引き続き取り組むことを求める。

討論

水道事業が難しい状況であることは承知しているが、市民の負担を増やすものであり、認められない。

◎三浦市下水道条例の一部を改正する条例

本案は、下水道使用料の改定をするもので、令和四年七月一日から四〇%の値上げを行うものです。

(質疑の主な項目)

・ これまでの経営改善の取組内容について

・ コンセプション方式導入の効果について

質問 使用料改定に伴う市民への影響額はどのくらいか。

答弁 一般家庭では、月十六立米使用の場合、一か月九十五円の値上げとなる。

討論



◎令和二年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算(第一号)

本補正は、歳入歳出それぞれ百五十五万二千円を追加するものです。

◎令和三年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第一号)

等について必要な規定の整備を行うものです。
(質疑は特にありませんでした)

◎令和三年度三浦市一般会計補正予算(第七号)

本補正は、歳入歳出それぞれ五億五千百一十一千円を追加し、歳入歳出予算の総額を百八十二億三千七百七十六万三千円とするものです。

(質疑の主な項目)

- ・母子生活支援施設や助産施設の利用人数の増加について
- ・中学校の修学旅行に替わる行事の実施について
- ・技能労務職の採用による市の業務上の効果と、正規職員の確保について

質問 新型コロナウイルススワクチンの三回目の接種について、接種時期や手法等を伺いたい。

答弁 まだ国から配分されるワクチンの種類や時期などが決定していない状況である。市民の不安

を解消できるように、今後、適正な情報提供に努めたい。

質問 三回目のワクチン接種時期を前倒しすることとは考えているか。

答弁 まだワクチンの配分等に関する情報がない中であり、情報を得た後に、接種会場や医療従事者の確保、日程等から総合的に考えたい。



◎令和三年度三浦市市場事業特別会計補正予算(第二号)

本補正は、歳入歳出それぞれ八百九十六万四千円を減額し、歳入歳出予算の総額を三億千九百六十三万六千円とするものです。

質問 市場施設使用料等による収入が減額となった理由は、

答弁 コロナ禍で貸事務室等の使用が減ったことによる影響が考えられる。

◎令和三年度三浦市一般会計補正予算(第八号)

本補正は、歳入歳出それぞれ二億二千七百二十八万円を追加し、歳入歳出予算の総額を百八十四億六千五百四万三千円とするものです。

質問 十八歳以下の子供に対する給付金の支給について、今後の見通しを伺いたい。

答弁 中学生までは申請の必要がないため、十二月中の支給を目指している。

高校生相当の対象者は申請が必要であり、年明けの支給となるが、中学生のきょうだいがいる場合は申請をしなくても支給できるため、併せて十二月中に支給したい。



本補正は、歳入歳出それぞれ百五十三万円を追加するものです。

◎令和三年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算(第二号)

本補正は、歳入歳出それぞれ千百十八万三千円を追加するものです。
(以上三件の議案について)

では、質疑がありませんでした)

◎令和三年度三浦市公共下水道事業会計補正予算(第一号)

本補正は、三浦市公共下水道事業におけるコンセッション推進支援業務について、期間と限度額を設定するものです。

定例会では何をしているの？

三浦市議会では年4回の定例会で議案(条例案や予算案など)を審議しています。ここでは定例会の基本的な流れを紹介します。

本会議

開会后、まず定例会の会期を決定し、次に一般質問(⇒7ページ)が行われます。その後、議案の説明を受けて、質疑をし、委員会に議案の審査をゆだねます。



委員会

委員会で議案をくわしく審査し、可決すべきものかどうか、委員会としての結論を出します。(⇒2、3ページ)



本会議

再び本会議を開いて、委員長から委員会での審査結果を報告し、賛成・反対の討論(⇒5ページ)の後、議会全体として議案の可否を決定します(⇒6ページ)。すべての審議が終わると、定例会は閉会します。

意見 安定した汚水処理サービスを将来へ引き継ぐために経営の改善が必要である。コンセッション方式の導入など、一層の取り組みを求める。

意見 コンセッション方式を導入すると職員数が減少するため、技術の継承等について疑問が多い。

新たに提出された陳情

◎政治倫理審査会における議事録の取り扱いに関する陳情書

趣旨 本陳情は、三浦市議会議員政治倫理審査会の記録について、不適切な発言があつた際には公開の是非の協議または公開後の削除ができるよう検討することを求めています。

◎精神保健福祉の改善に関する陳情

趣旨 本陳情は、精神科において良質な医療を提供できるように専門職の配置人員を引き上げること、精神疾患等のある方が地域で安心して生活できるよう支援・治療の体制を整備すること等について、国に意見書を提出するよう求めています。

◎国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情

◎神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情

趣旨 これらの陳情は、公立・私立学校の学費格差をさらに改善し、すべての子供に学ぶ権利を保障するため、私学助成の一層の充実を図るよう、国と県に意見書を提出するよう求めています。

◎安全・安心の医療・介護・福祉を実現し国民のいのちと健康を守るための陳情

趣旨 本陳情は、医師、看護師、医療技術職員、介護職員等を大幅に増員し、勤務環境と処遇を改善すること、公立・公的病院の再編統合や病床削減方針を見直すこと等について、国に意見書を提出するよう求めています。

◎「後期高齢者医療保険の窓口負担二割に引き上げる改正法」の実施中止を求める意見書提出の陳情

趣旨 本陳情は、七十五歳以上の医療費窓口負担二割化は高齢者の健康を脅かすものであり、標題の件について、国に意見書を提出するよう求めています。

◎「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書

趣旨 本陳情は、最低賃金の地域間格差をなくし、抜本的に引き上げること等について、国に意見書を提出するよう求めています。

◎介護施設の人員配置基準等の引き上げのために、国に対し意見書の提出を求める陳情

趣旨 本陳情は、特別養護老人ホーム等の人員配置基準を定めた条例を改正し、介護

（同じ題名・内容の陳情が二件提出されました）



陳情の審査結果

12月定例会で審査を終えた陳情は、次のとおりです。（いずれも令和2年度までに提出された陳情です）

所管委員会	件名	結果
都市厚生	介護施設の人員配置基準の引き上げのために、国に対し意見書の提出を求める陳情	審議未了
	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情	
	国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	
	「75歳以上医療費窓口負担2割化にしないことの見解」の提出を求める陳情書	



本会議における討論

議案第70号 三浦市下水道 条例の一部を改正する条例

三浦市の公共下水道事業は、経営状況が厳しく、事業運営費の約六割を一般会計繰入金に依存している。このような経営体質の改善を図れるよう、今後二十四年間の財政収支見直しを検証した結果、来年から四・四％の料金改定をすることになった。

反対討論

日本共産党 石橋 むつみ

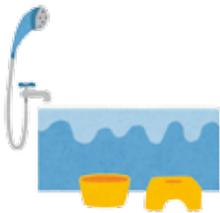
料金改定に当たっては、水道事業審議会の答申を踏まえ、令和六年三月まで引上率を一〇％とする経過措置を設けるなど、市民生活への配慮が示された。

新型コロナウイルスは新たな株による感染が広がり始めるなど、予断

新型コロナウイルスは新たな株による感染が広がり始めるなど、予断

市長を先頭に、三浦市水道ビジョン（経営戦略）の遂行に全力で取り組むことをお願いし、賛成する。

四・四％の値上げは、下水道利用者全体で年間一千万円の負担増になる。コロナ禍で先が見通せず、暮らしも営業も厳しく、水道に次ぐ下水道料金値上げの追い打ちを認めるわけにはいかない。



議案第69号 三浦市水道事業給水条例の一部を改正する条例

反対討論

日本共産党 石橋 むつみ

この議案は、三浦市水道ビジョンに沿って、令和四年度に改定率一六％の料金値上げをするものである。新型コロナウイルスの影響などを考慮して、初めの二年間は官公署用を除き一〇％の改定率としているが、一〇％の料金値上げで市民負担は年

間一億円増える。二六％の値上がりとなれば、年間二億六千万円もの市民負担増となり、県下一高い水道料金になる予想がされている。

市民の暮らしと営業に与える影響は計り知れず、賛成できるものではない。



賛成討論

自由民主党 神田 眞司

料金を先頭に、三浦市水道ビジョン（経営戦略）の遂行に全力で取り組むことをお願いし、賛成する。

市長を先頭に、三浦市水道ビジョン（経営戦略）の遂行に全力で取り組むことをお願いし、賛成する。

広告を掲載しませんか？

「みうら市議会だより」に掲載する広告を募集しています。

- ◇市内各世帯（およそ17,300部）に配布するほか、市役所、市民センター、市立病院、駅などに配架し、多くの皆さんにご覧いただいています。
- ◇「みうら市議会だより」は議会ウェブサイトにも掲載されます。
- ◇広告規格及び掲載料
縦4.2cm×横6.3cmの場合、1回につき
 - ・カラーページ 12,500円
 - ・単色ページ 9,500円

※詳細は、議会ウェブサイト内の募集ページをご覧ください！



人権擁護委員

熊谷 武矢 氏

市長から、次の方を人権擁護委員として法務大臣に推薦することについて議会に意見を求める諮問が提出され、異議なき旨答申しました。

人事



本会議での議案等の審議結果

《全員賛成で議決した議案》

【議案】
第62号 三浦市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
第63号 三浦市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
第64号 三浦市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
第67号 三浦市市税条例の一部を改正する条例
第68号 三浦市道路占用料条例等の一部を改正する条例
第71号 令和3年度三浦市一般会計補正予算（第7号）
第72号 令和3年度三浦市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
第73号 令和3年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）
第74号 令和3年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
第75号 令和3年度三浦市市場事業特別会計補正予算（第2号）
第77号 令和3年度三浦市一般会計補正予算（第8号）
【諮問】
第2号 人権擁護委員の推薦について

《賛否が分かれた議案》 ○賛成 ●反対

※ 議長は表決に加わらない

番号	件名	審議結果	自由民主党					公明・みうらクラブ		日本共産党		無所属		
			草間道治	千田征志	長島満理子	出口正雄	神田眞弓	出口眞琴	溝川幸二	鈴木敏史	藤田昇	石橋むつみ	小林直樹	蓮本一朗
【議案】 第65号	三浦市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例	可決		○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第66号	三浦市部設置条例の一部を改正する条例	可決		○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第69号	三浦市水道事業給水条例の一部を改正する条例	可決	※	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第70号	三浦市下水道条例の一部を改正する条例	可決		○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
第76号	令和3年度三浦市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	可決		○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○

一般質問 質問と答弁の要旨

一般質問とは、市政全般にわたって報告や説明を求めたり、疑問をただすことをいいます。第4回定例会では、10人の議員が市政運営について市側の考えをただしました。



質問 当初、ワクチンの集団接種に当たり多少の混乱があったようだが、その後はスムーズに接種が行われたと聞いている。何か工夫した点や改善点などを聞く。

保健福祉部長 接種開始当初は、受付時間より早く来場する方が多くいたため、案内がスムーズにできず、入場や受付で混乱があった。また、予診票の記入漏れなど受付に要する時間がかかったことも混乱を招く原因であった。その後は受付時間ごとに案内をして、入場待ち時間を短縮し、予診票の記入漏れも受付前の待ち時間に職員が声をかけた。そのほか、会場の椅子を増やすなど細かな改善を積み重ね、スムーズな運営ができるようになった。



改善点と城山地区

集団接種と利活用地について
公明・みうらクラブ 鈴木 敏史

要望 工夫や改善を重ね苦勞があったと思う。先の見えないコロナ禍なので、今後も集団接種があるかもしれない。そのときには経験と実績を生かし、よりスムーズに運営をしていただきたい。

質問 城山地区の利活用について聞く。事業用地内に設置されている核兵器廃絶平和都市宣言記念碑等や被爆アオギリ二世などについては、敷地活用において支障がある場合は事業者の費用負担により市の指定する場所に移転すると記載されている。これらの施設について事業者とはどのような協議がなされているのか聞く。

市長 指摘の記念碑等については今後も保存していくものであると考える。事業者との協議では、現



核兵器廃絶平和都市宣言記念碑

時点で移設するという考えは示されていないが、今後、事業上支障が生じる場合には、事業者の費用負担により市の指定する場所に運搬し、移設するという考えである。今後も協議がされていくことであると思う。

質問 事業用地内における道路の整備について聞く。

特定事業担当部長 契約候補者からは、事業開始当初は基本的に既存の建物を活用することで大規模な開発の想定はされていないと聞いている。そのため、現時点では道路の整備に関する提案もされていない状況である。



ビキニ被災と非核

デジタル化と電子クーポン決済

日本共産党 石橋むつみ

質問 戦後七十六年、ビキニ被災六十七年。コロナ禍の今年、平和の取組みは。

政策部長 ピースデー二〇二〇では平和教室「子どもたちが見てきたビキニ事件と「核」」をオンライン開催した。同二〇二二も開催検討中。

質問 城山の核兵器廃絶平和都市宣言碑と被爆アオギリ二世は市民に親しまれる存在。また平和首長会議は広島・長崎両市長が代表して総理に一刻も早く核兵器禁止条約の締結国に」との要請をした。市長の行動を問う。

市長 被爆アオギリ二世は平和首長会議より苗木を寄贈されたもの。折鶴の記念碑と共に残すべきものと考える。

政策部長 総理宛の要請は七月作成の平和首長会

議行動計画に基づくもので市も賛同している。加盟自治体と連携して行動したい。



被爆アオギリ2世とアオギリの実



質問 新型コロナウイルス感染拡大の影響で厳しい状況にある市内飲食店・小売業などの需要喚起のため、十月十九日、紙チケットでなく、みうらおもてなしクーポンの販売が始まった。事業内容、販売状況、市民や事業者からの意見・声・問合せの状況を問う。

経済部長 市観光協会を事業主体に、非接触型決済の普及と、コロナ感染拡大に対する経済対策として実施した。プレミアム率は五〇%、発行総額は二億四千万円、十一月二十五日現在、販売率約四四%。購入・利用方法が分からない、店舗対応に時間を要す、などの声も。観光協会では約四十件の対面案内を、チケットコールセンターに約千件の問合せがあった。

要望 スマホなどが無ければ、購入・利用は出来ず、店頭で操作する必要もある。分からないと言う方には、窓口や店先で個々に対応しているという。デジタル化推進とは言え、「情報格差」などを配慮した行政のサポートは考えているのか。事業終了後に他市の事業も参考に、店舗の利用が増えたか、新たな消費に繋がったか、問合せや市民の声への対応を含め、十分な検証と報告を求める。



投票率向上策他

大河ドラマと観光インフラ整備

無所属 蓮本 一朗

若年層の投票率

質問 今回の衆議院総選挙では三浦市の有権者全体の投票率は五一・一〇%であった。十八、十九歳の投票率の推移を伺う。

選挙管理委員会事務局長 今回の選挙での十八、十九歳の選挙当日有権者数は六百八十一人、うち二百九十九人が投票、投票率は四三・九一%だった。過去の十八、十九歳の投票率は、平成二十八年参議院選挙で四三・三七%、平成二十九年衆議院選挙で三五・二七%、令和元年参議院選挙で二九・四九%であり、今回が一番高い投票率だった。

質問 若年層の投票率を向上させるための啓発活動について伺う。

選挙管理委員会事務局長 三浦市明るい選挙推進協議会と連携して啓発し

ている。例年小学校六年生を対象とした選挙入門教室、中学生を対象とした選挙啓発ポスターコンクール、高校三年生への選挙啓発リーフレット配布などを行っている。今回の選挙から高校生を投票所の立会人などに起用する取組を行っており、来年度の参議院選挙でも高校生の立会人起用などを行う。

発見してもらうための広域プロモーションとして、神奈川県「鎌倉殿の十三人」連携協議会を設置した。三浦市もこのメンバーとしてプロモーションに参加している。

質問 初声地区には和田義盛の碑、白旗神社、和田城址などの史跡があり、観光解説板が整備されている。観光客の増加が見込まれるが、誘導サインの整備が必要ではないか。

経済部長 ぐるっと三浦・まちなかサイントータルプランの観光誘導サインの配置方針では、主要な分岐点などに適宜配置するとしている。今後需要に応じて検討していきたい。

観光インフラ整備

質問 令和四年に大河ドラマ「鎌倉殿の十三人」のテレビ放映がある。番組放映に対応した動きについて神奈川県内の関係自治体での取組を伺う。

経済部長 令和二年一月に令和四年の大河ドラマ「鎌倉殿の十三人」の記者発表を受けて、神奈川県では県内ゆかりの地を周遊して地域の魅力を再

見出し



和田城跡(在和田の里)

安心できるまち

感染症対策・子供を見守る取組

自由民主党 千田 征志



質問 新型コロナワクチン接種について、これま

では、ワクチンの配分により実施計画を立てる状況があったと思われるが、三回目のワクチン確保については、見通しが国から示されているのか何う。

保健福祉部長 一回目、

二回目のワクチン配分については、国から県、県から市町村へと配分が示されてきた。

三回目については、国がワクチン確保をできていく情報はありますが、配分のスケジュールについては現在、十二月分までしか示されておらず、その後の詳細は未定である。



三浦市立病院

質問 次に、人員確保について、三浦市ではワクチン接種業務を、これまで専任部署をつくらず、オール三浦市役所で実施しているというが、

他市町村では専門部署を設置しているところが多いと聞いているが、

今後の接種を実施していくに当たって職員体制に不足はないのか何う。

市長 普段の業務に加え、

担当には相当な負担がかかっている。しかし、市民の安全・安心を考えると、的確に業務を全うしなければならぬという責任がある為、三回目の接種も専任部署を設けずに行い、市役所全体、オール市役所で一丸となつて臨んでいく考えである。

これまで実施してきた経験を活かし、さらに庁内の連携をとり、役割分

担を行いながら実施すると共に、職員配置には配慮したいと考える。

質問 児童虐待について、虐待発見や相談の対応を目的とするダイヤルとし

て、児童相談所虐待対応「二八九」が創設されてから長い時間が経過した。

令和元年十二月からは通話料が無料となり、より利用しやすくなったが、多くの人に虐待への意識を持つてもらい、迅速な対応に繋ぐ為にも、さらなる周知が必要かと考えるが、市の見解を伺う。

保健福祉部長 「二八九」

について、現在ポスターの掲示、ホームページ等により周知を図っている。「二八九」は虐待を把握する為の重要な相談窓口であり、より多くの人に認知されれば、虐待の早期発見や発生予防にも繋がること認識している。

今後、さらに多くの人が知ることができるような周知方法を検討する方針である。

下水道事業

第八期・高齢者保健福祉計画等

公明・みうらクラブ 溝川 幸二



質問 七月三十日にコン

セッション事業の募集要項を発表したが、その後の状況等について何う。

下水道担当部長 民間事

業者十数社との個別対話を実施した。また、募集要項等に対する質問・意見を受け付け、約八百件の質問等があった。

質問 進捗状況と今後の

スケジュールを伺う。
市長 コンセクション方式には幸いにも多くの民間事業者が興味を寄せている。令和四年五月には提案審査書類を受付け、令和四年七月には優先交渉権者を決定し、令和五年四月の事業開始に向け、進めていく予定である。

事業開始に向け、スピード感を持ちつつ着実に進めるとともに、本事業の

目的に合致した実効性の高い事業者提案がなされることを期待している。

質問 第八期三浦市高齢者保健福祉計画・三浦市介護保険事業計画

質問 生活支援コーディネーターの役割を伺う。

保健福祉部長 主な役割は、サービスの資源開発、生活支援の担い手の養成、関係者間の連携体制の構築、地域のニーズとサービスのマッチングなど地域の支え合いや助け合いを広めるつなぎ役である。

質問 第一層協議体について三浦市の現状を伺う。
保健福祉部長 第一層協議体は平成二十八年度から設置し、市と生活支援コーディネーターが連携して開催し、地域ケア会議などで把握された地域課題の解決策や、そのために必要な地域ネットワ

ーク等について話し合いを行っている。

質問 第二層協議体の現在の設置状況を伺う。
保健福祉部長 令和三年

四月から、本市と生活支援コーディネーターが連携し、第一層協議体での取組を継続しながら、まずは南下浦地区をモデル地区とし、第二層協議体を設置した。

要望 個々での取組だけでは解決が難しい課題などを話し合う第二層協議体の設置は、高齢者のためだけでなく、市民全体の話につながっていくと考えられる。三崎地区、初声地区にも協議体を早い段階で設置して、課題解決に向けて取り組んで

いただきたい。



生活支援コーディネーターのイメージ



学校教育ビジョン

リフォーム、城山地区、城ヶ島

日本共産党 小林 直樹

学校教育ビジョン

質問 主な内容は、市内の八小学校を五校廃校にして三校にしてしまう「一中学校区一小学校」、そして、小学校と中学校が離れている「小中一貫教育」の二つである。しかし、主な内容の二つを見直すことになった。見直しをするために、教職員と保護者の方にアンケートを行うが、地域の方々へも実施するの

か？

教育部長 地域協議会からも実施を望む意見があり検討中である。

住宅リフォーム

質問 住宅リフォーム助成制度は、市内の施工業者が行う住宅やマンションのリフォーム工事に

対して助成する制度である。「建設業の振興」と「住環境の向上」を図ることを目標としている。今年度は、二十万円以上の工事に七万円の助成金である。

来年度も継続して実施すべきだが、いかがか？

市長 リフォーム助成に対する関心の高さや期待度も感じている。ニーズに応えるために来年度も実施する。

三崎漁港と城山地区

質問 三崎漁港ブランドデザインを策定中だが、城山地区の利活用と連携

をしていくのか？

特定事業担当部長 城山

地区は、三崎地区と連携していく。

質問 旧三崎中学校は、災害時の避難地と避難所

でありヘリコプター発着所でもある。利活用が決まった場合、代替地の確保が必要だが、どのように考えているか？

防災担当部長 今後、検討していく。

城ヶ島の地区計画

質問 地区計画で、城ヶ島の灯台通りを幅員六メートルに拡幅する予定

である。道路の幅員が六メートルになったら交通量が増えると思うが、いかがか？

都市環境部長 通過交通が発生する道路ではなく、道路拡幅しても交通量は著しく増加するとは考えない。

要望 通過交通が発生しない、交通量が増加しないのなら六メートルに拡幅する必要はない。過剰な道路整備になると危険

する。



観光振興について

ウィズコロナと観光について

自由民主党 長島満理子

観光振興について

質問 二月五日から三浦海岸桜まつりが開催される。開花情報などSNSでの情報発信は必要であり、回遊性向上に向け、様々な角度からの情報発信は必要と考えるが、どのような情報発信を考えているのか伺う。

経済部長 観光協会においてインスタグラムやツイッターを利用した情報の発信を準備している。

質問 桜まつり期間中は、レンタサイクルの利用も含め、回遊性の向上を図る上で臨時的に観光案内所の設置は必要であると考えるが、予定はあるか伺う。

経済部長 臨時的な観光案内所の設置については観光協会と協議していく。

質問 海水浴場は途中で閉鎖となったが、京浜急行で夏色きつぷが九月

まで販売され、三浦海岸から東海岸の飲食店も利用できることで、緊急事態宣言中であっても利用者は多かった。再び経済の景気回復に期待し、企業の参画も含み、各海水浴場も特色を生かし、海岸を活用した集客事業に取り組みながら新たな海岸の魅力を発信していくことが可能だと考える。三浦市の歴史ある海水浴場の今後の在り方について伺う。

市長 海水浴場は三浦の夏を代表する観光スポットである。存続して頂きたいと考える。今後も各海水浴場の開設者の方々と意見交換を行い、必要な支援を行いたいと考えているが、様々な形で海岸利用、海水浴場の開設を視野に取り組んでいきたいと考える。

質問 みうらおもてなしクーポンについて伺う。

市内外で約五〇%の割合で購入されているが、一部の報道では六割近くが残っているとある。非接触型といっても購入者にとつて電子クーポンというのは操作が難しいと考え購入を断念する人もい

る。残りのクーポンはどのような販売促進をするのか伺う。

市長 プレミアム率五〇%の魅力は大きい。ちょうど今日の十時から年末年始応援キャンペーンと銘打って二〇から十〇へ拡大している。多くの方に利用頂き、市内事業者へ協力が出来ればと思っている。



おもてなしクーポン

避難体制の構築



三崎下町駐車場
自由民主党 出口 正雄

防災対策

質問 水防法や土砂災害防止法など災害対策関連法の一部改正が令和三年七月十五日に施行され、高齢者など要配慮者利用施設では、浸水、土砂災害などの避難確保を確実にするため、従来の避難確保計画の作成・報告、避難訓練の実施に加え、避難訓練結果の報告が義務付けられた。

市内の要配慮者利用施設数、避難確保計画作成・報告済み、避難訓練実施済みの施設数を聞く。

防災担当部長

地域防災計画に掲載されている要配慮者利用施設は五十五施設、そのうち計画を作成し市長へ報告された施設は二十一施設、避難訓練実施施設は五施設である。

質問

要配慮者利用施設では、避難確保に職員だけで対応することが難しい場合は、市をはじめ地域社会で支援する体制が重要である。訓練に協力、参画するなど現状と今後の体制づくりを聞く。

市長 避難確保体制の構築は市と施設、地域が一体となって取組んでいかなければならないが、計画を作成した施設が四割に満たないなど、まだまだ制度がご理解いただけではないことが課題である。市は施設と協力して訓練を実施し、結果を検証するなど実績を積み重ねている。今後も継続して避難確保体制の構築に努めていく。

三崎下町駐車場対策

質問 三崎下町地区に車が増加し、週末や祝日は

駐車場不足による渋滞が発生している。臨時駐車場と、新たな駐車スペースの確保を聞く。

市長 駐車スペースの確保は重要なことであり、長年の課題であるため積極的に取組んでいく。

経済部長

臨時駐車場は「うらりマルシェ」周辺に確保することが利便性に確保と下町商店街への回遊促進から効果的と考えられる。そのため「うらり」先の二号魚揚岸壁の後背地や二町谷地区水産関連事業用地の一部を活用している。本年度は四月から十月末までの間に十五日間設置し、二千二百九十九台の利用があった。



駐車スペースの確保を

あったかいまち



子供を産み育てたいまち
自由民主党 神田 眞弓

質問

学校教育ビジョンを見直す上でアンケート調査を実施し、その結果を反映させていくことは、未来を生きる子供たちの力をはぐくむ教育体制を市民とともに構築していくために一番大事なことである。アンケート調査の進捗状況を伺う。

教育部長 アンケート調査は、教職員を対象にしたものと保護者を対象としたものに分けて実施を考えている。スケジュールとしては、令和四年一月に保護者向けのアンケートを実施し、令和三年度中に取りまとめたいと考えている。

質問

三浦市の観光を支えてきた京急油壺マリナーフが五十五年の歴史に終止符を打ち、惜しまれつつ閉園した。市民からも思い出が詰まった観光施設として親しまれてきた。閉園後のマリナーフ跡地の活用について、具体的に京急グループから示されているのか。

経済部長 滞在拠点の一体開発に向けて、大手デベロッパーと共同開発を推進するとされている。



絶好のロケーションのマリナーフ跡地

市長 京急グループからは、跡地の暫定利用を検討しているという話は伺っている。

質問

環境対策

海底火山噴火が原因とみられる大量の軽石が黒潮に乗り北上を続けている。漁業をなりわいとする三浦市経済に重大な影響をもたらす軽石の漂着は災害であり、どのような対策を取るか伺う。

質問

水産担当部長

市営漁港については、総延長四百メートルのオイルフェンスを確保した。何かあった場合は、地元漁業者の協力により軽石の侵入を防ぐ体制を整えている。



上下水道事業

水道広域化推進・経営安定化

自由民主党 出口 眞琴

質問 県営水道への移管について、現在の県との連携の状況を伺う。

上下水道部長 県営水道との統合についての具体的な議論は始まっていないが、水政室を中心に協議を進めていただくというふうな予定である。

質問 県営水道との統合の議論を進めていく段階に入るが、今後どのように活動していくのか伺う。

市長 統合に向けては関係する事業者などの理解を得ることが必要だが、三浦市の事業経営が健全であること、安全で安心した水道水の供給を確実にすることが前提となる。

これらを維持しながら、神奈川県と連携をして課題解決に向けて努力をしていく。

下水道事業について

質問 水洗化率の向上が

必要と考えるが、どのような取組をしているか伺う。

下水道担当部長 三浦海岸駅周辺での広報活動、ホームページ・三浦市民及び未接続世帯への戸別訪問による普及活動を実施した。

質問 下水道事業にとってコンセッション方式導入が有効な手法と考えるが、公共下水道事業東部処理区の今後について伺う。

市長 コンセッション方式の導入を進め、事業開始後は運営権者と協力して、経営の安定化を目指していく。

質問 西部処理区・南部処理区排水処理方針では、西部処理区単独であれば公共下水道に着手できる可能性があるので、具体的な検討をするとなつて

いる。一方で公共浄化槽の検討もしているが、どのような考えか伺う。

下水道担当部長 環境省から、浄化槽で汚水処理すべき地域を浄化槽処理促進区域として指定し、この指定区域内の浄化槽を「公共浄化槽」として市町村が管理するという考え方が示された。これらの状況から公共浄化槽導入の検討を始めた。

質問 西部・南部処理区の今後の事業について伺う。

市長 三浦市にとって公共浄化槽が最善の方式かを見極めたい。財政的な部分も検討した上で公共浄化槽導入のスケジュールなども作成し、西部処理区・南部処理区の生活排水処理の問題解決を目指して検討を進めていく。



小網代配水塔

議会ウェブサイトのご案内

三浦市議会ウェブサイトでは、本紙で掲載している一般質問などの会議録の閲覧のほか、定例会の日程や議案の審議結果など、議会に関する情報がご覧になれます。



議会ってどんなことをするの？

議員の名簿が見たい！

議会の会議を見てみたいな

過去の議会だよりは見られるかな？

こちらのページへ！

三浦市議会

検索

政治倫理審査会

審査経過と結果の報告



QRコードから掲載ページへ

蓮本一朗議員に 関する審査（新規）

令和三年六月十四日に三浦市議会議員政治倫理審査会が設置され、審査が行われています。前号での報告以降に、新たに一件の「三浦市議会議員政治倫理調査請求書」が市民から提出され、本件については一月十七日に審査を終えました。二件の審査について、経過と結果をお知らせします。

【審査結果報告書】

一・審査対象議員

蓮本一朗議員

二・付託事案

蓮本一朗議員の議会外における行為について

三・審査結果

調査請求について否（適さないもの）と決定した。

四・審査の経過

審査会開催日 令和三年十二月三日、十二月九日、令和四年一月十四日、一月十七日
審査の概要は別紙のとおり

【別紙・抜粋】

第一回審査会 令和三年十二月三日

- 一 審査事案の付託
- 二 調査請求内容について

第二回審査会 令和三年十二月九日

- 一 調査請求の適否について

調査請求の適否に関する議論をするに当たり、調査請求者及び当該議員への聴取は行わないことを決定した。

第三回審査会 令和四年一月十四日

- 一 調査請求の適否について

調査請求の適否に関する議論を行い、採決の結果、本調査請求については否（適さないもの）と決定した。
〈述べられた意見〉

・当該議員が行った業務に関する件は解決済みである。

・個人間や後援会組織の問題は議会を取り上げるものではない。

・疑惑を持つ市民がいることは事実。事実確認をすることが必要だと思つた。

二 当該議員からの意見
蓮本一朗議員の出席を求めて意見を聴いた。

〈当該議員の発言〉

・政治倫理条例の趣旨を銘記し、これにもとることのないよう行動に留意したい。

第四回審査会 令和四年一月十七日

- 一 審査結果報告書について

審査会から議長に行つた審査結果報告の内容を決定した。

藤田 昇議員に 関する審査（継続）

令和三年三月十日の都市厚生常任委員会における陳情審査の際の言動等が政治倫理基準に違反するものとして調査が求められています。

第九回（令和三年十一月十六日）

○政治倫理基準違反の行為の存否について

藤田議員に出席を求めて聴取を行いました。常任委員会における当該議員の発言内容などについて確認が行われました。

第十回（令和四年一月二十四日）

○政治倫理基準違反の行為の存否について

調査請求者に出席を求めて聴取を行いました。

開催ごとの会議録や資料、議員政治倫理条例は、三浦市議会ウェブサイト「政治倫理審査会」のページに掲載しています。

三浦市議会議員 政治倫理審査会

- 委員長 出口 眞琴
- 副委員長 溝川 幸二
- 委員 寺田 一樹
- 鈴木 敏史
- 長島満理子
- 小林 直樹
- 神田 眞弓

3月定例会日程案

令和4年第1回定例会は、次の日程により開かれる予定です。

月 日	曜日	会 議 名 等
2月21日	月	招集告示
24日	木	議会運営委員会（日程・審議方法等決定）
3月1日	火	本会議（施政方針）
2日	水	本会議（一般質問）
3日	木	本会議（一般質問）
4日	金	本会議（一般質問）
7日	月	総務経済常任委員会
8日	火	都市厚生常任委員会
10日	木	予算審査特別委員会
11日	金	
14日	月	
15日	火	
16日	水	
22日	木	本会議（委員長報告・採決）

※今定例会で審査する請願・陳情の提出期限は2月22日（火）です。



お家でも議会が 見学できます！

三浦市議会では、本会議のライブ映像や過去の映像をYouTubeで配信しています。スマートフォンでも視聴できますので、ぜひ、議会の様子をご覧ください。

議会インター
ネット中継は
こちらから⇒



三浦市議会 議会中継 🔍 検索

※過去の映像は会議録が議会ウェブサイトに掲載されるまでご覧いただけません。

表紙写真 の紹介



議長の草間です。

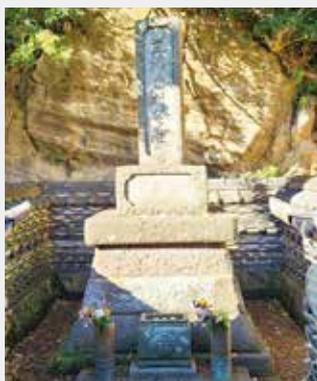
今回の写真は、十二月十三日に撮影した、和田義盛の碑がある和田八雲神社の写真です。

和田八雲神社は、和田バス停から長浜海岸へ歩いて二分ぐらいのところにある小さな神社です。

私は、平塚農業高校初声分校に通っていました。高校時代には通学路として毎日この近くを通過していました。今日まで和田義盛の碑がある和田八雲神社の存在に気が付きませんでした。なんて歴史に無知だったんだろうと思います。

解説板による

と、和田義盛は鎌倉幕府創建の功労者だった三浦半島の剛勇・三浦大介義明の孫に生まれ、初



岩浦バス停近くにある三浦義村の墓

声町和田を領地としたことから和田氏を名乗ったそうです。武勇にこのほか優れ、弓矢にかけては右に出るものはいないほどで、源頼朝、頼家、実朝の三代にわたって忠誠をつくしましたが、北条氏と対立した結果、建保の乱（和田合戦）を起し、和田一族は滅亡します。

令和四年一月から始まったNHK大河ドラマ「鎌倉殿の十三人」には、十三人の重臣の一人として和田義盛が登場します。同じく重臣の一人で叔父の三浦義澄との関わりや、義澄の子・三浦義村がどのような形で描かれているのか楽しみです。

新型コロナウイルス感染症に対する議会の対応

議会災害等対策本部の活動を報告します

十一月十五日

◎十一月定例会の運営方法等について協議した。

- ・一般質問の質問者の数は、希望する全議員が行う（前は各党派等の構成人数の約半数である七名）
- ・委員会では、これまで行っていた市側説明員の出席者数の制限は行わない
- ・各派代表者会議、災害等対策本部、議会だより編集委員会等の開催場所についてソーシャルディスタンスを考慮し、会議室で行ってきしたが、コロナ対策前の副議長室に戻す
- ・そのほかの感染症対策（本会議では間隔をあけて着席、一般質問は質問内容が重複しないよう会派内で調整、飛沫防止用パネル設置、マスクの着用、手指消毒、検温等）については前回と同様に行う

◎令和三年度の議会報告会は、開催する方向で議会運営委員

会で協議をすることとした。

◎委員会の行政視察の実施についてはそれぞれの委員会で検討することとした。

十二月九日

◎次回定例会に向けて対応を協議した。

・引き続き災害等対策本部を設置し、三月定例会前に対応について協議をする



12月定例会では、新型コロナウイルスの感染者数が減少傾向にあったことから一部の対策をコロナ前に戻しましたが、議会では今後も慎重に対応を検討していきます。

傍聴の際は、引き続きマスクの着用等のご協力をお願いします。



三浦市では、地球温暖化対策や感染症対策による職場の換気継続のため、令和三年十二月一日から年間を通じた軽装での勤務（シンプルスタイル）を実施しています。

この考えに賛同し、議会でも会議出席時の服装を、特別な場合を除いて次のとおりとしました。

- ・一年を通じてネクタイの着用を不要とします。
- ・五月から十月までの間は、上着の着用を不要とし、派手な色ではない無地のボタンダウンタイプのポロシャツの着用を認めます。



12月定例会から実施しています

議会報告会のお知らせ

今年度の議会報告会は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて検討した結果、市内3地区での開催は行わず、東岡区の皆さんのご協力をいただき、テーマを絞って実施することとなりました。東岡区では令和3年10月に区民会館が完成し、住民有志による有償ボランティアなどの活動をされています。

なお、感染症対策のため、議会報告会の傍聴はできません。

日時	2月17日（木）13：30～
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・城山地区、市民交流拠点整備事業について ・自治活動（市民活動）に対する関連予算について ・東岡区の取組について

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、変更または中止となる場合があります。



議会運営委員会での検討の様子

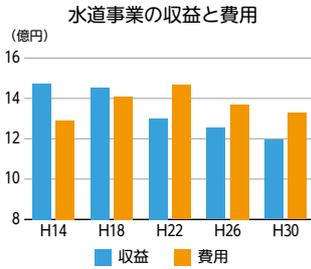
どうして水道料金と下水道使用料を改定するの？



委員会の審査概要には入りきらなかった、これまでの経過を解説します。委員会での審査概要は2、3ページ、本会議での討論は5ページをご覧ください。

このため平成二十二年
度から赤字決算が続ぎ、
令和元年度からは資金不
足となって一般会計から
の補助金で事業費用をま
かなっています。

水道料金は吉田市長の
公約として、平成十四年
以降、値上げが行われて
きませんでした。しかし、
今後も安全な水を安定し



三浦市では人口や使用
水量の減少に伴い、水道
事業の収益が減少してい
ます。職員人件費等を抑
制しても、水道施設の整
備費用が増加しているの
で、事業費用（支出）は
あまり減っていません。

◆水道事業の課題



◆これから
市は令和三年三月に策
定した「三浦市水道ビジ
ョン（経営戦略）」に
基づいて、経営の安定化
を図り、県営水道との統
合を将来的な理想像とし
て取り組んでいきます。

◆これから
議会では、平成三十年
から三十一年に上水道事
業に関する特別委員会を
設置して、水道事業の課
題等を議論してきました。

現在、都市厚生常任
委員協議会で執行部から
の報告を求めて質疑を
行っているほか、一般質
問や予算・決算委員会な
どで継続して議論してい
ます。

◆これから
この中で出された議会
からの提案を受け、三浦
市の水道についてもっと
知っていただくことを目
的に広報誌「みうら市の
水道」が二回発行され
ています。

◆下水道使用料



三浦市の東部地区では
公共下水道が整備され、
台所やトイレから出た汚
水は東部浄化センターで
きれいな水に処理されて
から東京湾へ放流されま
す。



◆下水道事業の課題

水道事業と同様に公共
下水道事業は独立採算制
が原則です。関連する施
設や汚水管の維持管理費
用などを下水道使用料等
でまかなう必要がありま
すが、現在はその六割を
一般会計からの繰入金で

◆これから
補っている状況です。

◆これから
財政収支を試算したと
ころ、経営体質の改善に
は約二十六%の使用料の
値上げが必要という結果
になりました。このため、
市は令和四年度から四年
ごとに段階的に値上げを
していくことを考えてい
ます。

◆これから
また、事業費の縮減が
見込まれるため、コン
セッション方式を導入し
て民間が事業運営するこ
とを検討しています。

◆これから
議会では、一般質問や
都市厚生常任委員会など
で、下水道事業の経営や
コンセッション方式の導
入に関して様々な視点か
ら議論をしています。

◆これから
今後も下水道事業の取
り組みを注視していきま
す。

水道事業、下水道
事業をもっとくわ
しく知りたい方は、
広報誌をご覧ください。

みうら市の水道



おしえて！下水道



編集委員コラム

編集委員長
草間 道治

我が家には、二本の河
津桜があります。

十四年前に河津桜で有
名な伊豆河津町に会派で
視察に行ったときに買っ
てきました。一本は畑の
そばの山に植え、もう一
本は自宅に植えました。

◆これから
今では高さが四メート
ル以上になり、一月下旬
から二月にはピンクの花
が咲いて毎日キッチンか
ら花見ができます。

◆これから
今号が届くころには、
三浦海岸の河津桜も見頃
になっていると思います。

議会だより 編集委員会

- 委員長 草間 道治
- 副委員長 藤田 昇
- 委員 蓮本 一朗
- 委員 溝川 幸一
- 委員 石橋むつみ
- 委員 出口 正雄